

## 第 615 回：論文やレポートの書き方について (13) (DM)

みなさま、こんにちは。LA 毎週月曜 12:00~15:00 担当、博士課程 2 年の DM です。今回は、その続きを行っていきます。

今回の私の課題は、実際に先行研究を見つけることです。既に私は『谷崎潤一郎：没後五十年、文学の奇蹟』というムック本を見つけています。それを手がかりに、自分の疑問に関連のある先行研究を探していきます。思い返してみると、私は、直に『文章読本』から自力で問題を掴もうとして、上手く言語化できていなかったのです。果たして、そんな状態で適切な先行研究を見つけることができるのでしょうか？

ありがたいことに、それでも私は、自分の先行研究を見つけることができました。ムック本を読むと、どうやら、渡部直己という方が、谷崎における「言葉の間接性」について詳しく論じているようなのです。これは私の個人的な実感ですが、先行研究は、単に自分の問題や仮説に客観性を与えるためだけでなく、自分の疑問に適切な言葉を与えるためにも必要なのだと思います。今回の私も、この「言葉の間接性」という言葉を見つけたことで、ようやく、自分の疑問を言語化することができたのです。自分の疑問について自分よりも先に詳しく論じているということは、これすなわち、渡部氏の谷崎論は私の先行研究である、ということです。つまり、私は自分の先行研究を見つけることができたのです。

後は入手するだけです。ムック本によれば、渡部氏は『谷崎潤一郎 擬態の誘惑』(1992)

という谷崎論を出しているそうです。ただ、もう少し読んでいくと、『言葉と奇蹟 泉鏡花・谷崎潤一郎・中上健次』(2013) という増補版も出版されているようです。手に入れるなら後者ですね。

さっそく調べていきます。外大図書館 OPAC の「神戸市外国語大学」の項で「言葉と奇蹟」と検索します。1 件ヒットしました——が、残念ながら、探している本とは別のものでした。ならば、OPAC の項目を「神戸市外国語大学」から「CiNii Books」に変更して、もういちど「言葉と奇蹟」と検索しましょう。——こうすると、どの大学図書館にこの本が所蔵されているのか、調べることができるのです。——すると、『言葉と奇蹟』が、「神戸市立中央図書館」や「神戸大学 附属図書館」等、88 件の大学図書館に所蔵されていることが分かりました。ひとまず安心ですね。

入手方法は色々です。他大学図書館に所蔵されている文献は、有料で外大に取り寄せることができます。もちろん、お近くの公共図書館を利用することもできますし、自費で購入するという手段もあります。時間と資金次第ですね。私は自費で買いました。

最低限の調査対象と先行研究が集まりました。こうして、真に研究を始めていくことができます。

さて、今回の内容、および今年度の私の分の LA 通信はこれで以上です。ようやく準備が完了したところでの唐突な最終回。とはいえ、どんな小さな研究も、こうした準備が肝心なのです。そこに焦点を当てた一年だったのだ——そう受け取っていただけると幸い

## 第 615 回：論文やレポートの書き方について（13）（DM）

です……！

今後とも、LA をどうぞよろしくお願いい  
たします。ご愛読、ありがとうございました。

### 参考文献

『谷崎潤一郎：没後五十年、文学の奇蹟』  
河出書房新社、2015 年